

令和3年度第2回 宗像市市民文化・芸術活動審議会議事録

日 時	令和4年1月24日(月) 10:00~12:00	
会 場	宗像市役所 103 会議室	
出席者	委 員	<input checked="" type="checkbox"/> 古賀 <input checked="" type="checkbox"/> 原 <input checked="" type="checkbox"/> 大澤 <input type="checkbox"/> 吉田 <input checked="" type="checkbox"/> 秦 <input checked="" type="checkbox"/> 牟田 <input checked="" type="checkbox"/> 福間 <input checked="" type="checkbox"/> 田代 <input checked="" type="checkbox"/> 境 <input checked="" type="checkbox"/> 櫻木
	事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 久保 <input checked="" type="checkbox"/> 南 <input checked="" type="checkbox"/> 松成

1. 文化スポーツ課長あいさつ

古賀委員長あいさつ後、久保課長あいさつ

2. 報告事項

(1) 市民文化芸術活動事業補助金の見直し検討結果について

事務局説明

(古賀委員長) 来年も募集・審査をすることか？

(事務局) するために必要となる。早めに審査要綱をお送りして審査方法も説明する。

(2) アートによる地域課題解決事例報告

事務局説明

(古賀委員長) 文化スポーツ課発案素晴らしい。やったことは地域課題解決、繋いだことがアートマネジメントである。

(秦委員) 面白い。以前赤間小学校で灯籠祭りを実行委員会でやっていた。継続していくのが難しい、教師も生徒も変わるが、システムを学内でどう継続維持するかが課題だったマネジメント人材が必要。

(牟田委員) 市民活動団体支援をしていた。コロナで中止しているが、実行委員会で会場イルミだけやっている。地域にはアート活動している方々多い。そういった団体さんも今後考慮して言ってほしい。

(古賀委員長) 芸術や文化をつなぐ機能がアートマネジメント。意識せずにやっている人たちがいるので、発掘しつながることが重要。

3. 審議事項

(1) 宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン(リビジョン)の内容確認について

別紙：リビジョンに対する考え方参照

事務局説明。

(事務局) リビジョン期間3年間は市へのアドバイス、次期ビジョンの作成を審議会にお願いしたい。

(古賀委員長) 審議会役割確認したい。諮問されて案を作成して答申という流れは今回はない。委員からはご意見をいただくとこまでという理解でよいか

(事務局) そのとおりです。

(大澤委員) 考え方について、法の定めに対して宗像市の対象分野は狭いのか？

(事務局) 条例に規定されており、法よりも限定されている。どれを広げるか検討したい

(大澤) いろんな言葉が出てくる。リビジョンはすでに運用されているのか

(事務局) 現状運用開始していない

(大澤委員) 新ビジョンは？

(事務局) その通りです。

(古賀委員長) 文化芸術の範囲は気になっている

(事務局) 気になっている部分を次期条例改正に向けてご意見いただきたい

(古賀委員長) リビジョン期間にはやらないのか？

(事務局) 試行実験はやりたい

(古賀委員長) ビジョン、法律、条例、それぞれ比較資料必要

(事務局) 次回用意して送付する

(大澤委員) 宮崎県が文化条例作っている、当初文化芸術振興基本条例を作る予定だったが、文化芸術ではなく文化になった。宗像市も条例改正の時に少し考えた方がいい、文化芸術という言葉は違和感。法と同時にできた謎の言葉。国に準じるというのは気持ち悪い。独自性期待したい

(福間委員) 範囲の違いは国と違って良いと思う。時代のニーズ疑問だった。文化、芸術、定義難しい

(古賀委員長) 難しいが重要な点である

(事務局) 吉田委員からの意見メール読み上げ。宗像の地域性、独自性、郷土性大事

(原委員) 音楽中心でまちづくり、リビジョンでは消えたのか

(事務局) ご指摘の通り。後期ビジョンでは音楽中心で取り組んだ。大きな例がみあーれ音楽祭。費用面で実施困難に。数年に1度でやりたい。表立って音楽中心はここで一旦終わり、しかし音楽は別の形で活発化できるようやっていく。

(原委員) みあーれ音楽祭は全国的に見ても特色ある取組み。無くさないとのことで安心

(牟田委員) 有名アーティストが減り、市民団体が活躍する場に置き換わっていった。市民団体は期待している

(福間委員) 町の中に音楽が溢れる、素晴らしい。たとえば東京の駅メロのようなことを宗像でできないか

(櫻木委員) 事業のほとんどはユリックスとコミュニティが支えている。宗像の都市魅力の一つに福祉がある。「宗像はこれだ！」というものが無い。たとえばコロナで会場参集できない大会など多い、これを宗像でできないか。他所でできないものを宗像が引き取っていく。

(古賀委員長) ビジョンとアクションプランは HP 公開されるのか

(事務局) 市ホームページにて公開される

(古賀委員長) まずリビジョンの文言などで気になるところを意見してほしい

(大澤委員) 吉田委員の地域性、独自性、郷土性を入れてみては「地域的な特色のある文化」は残すべき

(古賀委員長) 「気づくとそこに文化芸術」は気になる

(事務局) イベントではなく日常を意識した。

- (古賀委員長) 伝わりづらいかもしれないので、何か別の言葉で考えてもらいたい
- (秦委員) マネジメントの話、作り手にマネジメントの人が入っているか否か
- (古賀委員長) 後期ビジョンでは2に入っているが、今回は抜け落ちているので、2か4か、その機能の重要性を入れておくこと
- (櫻木委員) 文化芸術活動、現役世代は難しい、平日仕事、週末家庭。一番事業しやすいのは子供とリタイア世代。この人たちは足がないことが多い。この人たちをどう文化しせつに運ぶか、公共交通が大事。プランはしっかりしたものができているが、鑑賞体験機会のためには交通も大事
- (古賀委員長) 大事なこと。明記しても良い
- (福間委員) 今後ノルートなどの導入予定はあるか？
- (事務局) 日の里地区で試験中。
- (福間委員) 自由ヶ丘地区は？
- (牟田委員) 自由ヶ丘はオンデマンドタクシー。しかし登録者少なく、廃止になった。アウトリーチ活動、コミュニティが独自でやるものもある。

## (2) リビジョンに基づくアクションプラン一覧について

### 事務局説明。

- (古賀委員長) 事業そのもの、目標値、成果指標について委員意見集約する。アクションプランについてご意見を
- (田代委員) コロナで子供が学校で文化芸術に触れる機会が減っている。家庭では格差がある。コミュニティスクールなど社会で文化芸術に触れる機会があれば
- (古賀委員長) 事務局へ質問、何かプランの中にあるか
- (事務局) アクションプランの13番あたりになるが、これだけでなくコミュニティスクールなども。学校部活動に文化協会派遣などやっている
- (秦委員) CS推進の中で、コーディネーターいれば学校も受け入れやすい。文化の支え手12番、高校生なら作品を作るがわだけでなく、運営側に関わる視点があっても良い。21番がこれとセットになると良い。
- (原委員) 大学で音楽ボランティア論がある。大学院修了生と学生で宗像中学で特別授業を立ち上げ、運営側に学生と中学生を入れ活動している。人材育成の観点大事。作り手は企画運営も作り手である。これを学ぶことで自分が演奏するとき、運営がいないと成り立たないという気づきになる。
- (古賀委員長) 12番、中学生を参加させ、という目線はNG。目標値も「させ」はNG。
- (境委員) アクションプラン見ている、コロナが広まったらできるのかな、できなくなったらどのくらいの損失なのかな。大きくまとめてお金を使うより、細やかに分割してやった方が良いのかなと感じる
- (牟田委員) 16番宗像吹奏楽祭には社会人楽団も入っている
- (古賀委員長) 主体、関連組織でユリックス、文化協会と意見交換しているか？コミセンとも意見交換を
- (大澤委員) アクションプラン全体の意見。宗像市の都市規模でこれだけやるのは大変なのでは？1本1本が小振りになり、予算がかけられず、「やったかやらなかったか」が注視され、成果が見えなくなるのではないかと。目標値や成果指標を数で示すの難しい。数で示せるものを成果指標にできるのか。成果指標は横軸ではなく、縦の一番下では？今のままではTODOリストである
- (古賀委員長) 多くて大変。従来あったがなくなっているものもある。無くした理由を知

りたい。音楽溢れるまちというテーマ、みあーれ音楽祭がなくなったことも今日気づいた。なくなったことは説明してほしい。高齢者施設ワークショップ、障害者アート研究、26 番サロン大変重要になる。ここが人材養成になるし、活動家の意見状況を集める大変重要な場になる。やり方には十分な工夫を。文化人の溜まり場になって、いろんな人が集まりにくい。「集まって話しましょう」と言ってもなかなか集まらない。工夫が必要。

(櫻木委員) 今までの問題点と評価が載っていない。

(古賀委員長) 修正と確認のプロセスは？

(事務局) お時間いただいて見直す。ご意見を極力盛り込みたい。それを踏まえて文化協会などにも話していく。一度公開しても見直せる

その他

(古賀委員長) 九州産業大学から芸術文化観光専門大学へ行くことになった。兵庫なので、次回以降委員をつとめることが難しい。今後とも宗像市には注目していく。必要あれば協力もする

次回日程：令和 4 年度 改めて日程調整